

未経産牛GC

藤井康浩氏

経産牛GC

才木敏希氏



審査講評する
児玉辰司 審査員

広略ホルスタイン改良同志会(会長 檜高侑祐・会員四十二名)は、十五頭の出品牛のもとに第三十六回ひろらくブラック&ホワイトシヨウを開催した。

審査員には、児玉辰司氏(株)十勝家畜人工授精所を招き、未経産牛の部の第一部には一頭、同二部三頭、同三部一頭、同四部七頭、経産牛の部、第五部三頭で審査が行われた。

未経産牛の部、経産牛の

部のグラントチャンピオンには次の出品牛が輝いた。

この内、両グラントチャンピオン牛は四月十四日、十五日に静岡県御殿場市で開催される第九回全日本ブラック&ホワイトシヨウに出品される。

ひろらくB&Wシヨウ終了後、出品者や応援に駆けつけた同志会会員、協賛関係者は一緒にバーベキューを囲み意見交流した。

未経産牛部門



個体識別番号 1529451434
ブルートパーズ ダイヤモンドバック サルト
生年月日 平成 28年 11月 5日
所有者 藤井 康浩氏

経産牛



個体識別番号 1508947705
ビゴラス ヤルジヤン ミステイ
生年月日 平成 28年 1月 8日
所有者 才木 敏希氏

4月1日 乳量データ収集システム運用開始

3月31日 集乳単位を「L」から「kg」に
集乳車両18台・三次CSで精度検査実施



(電磁流量計の精度管理検査を行う広酪職員)

四月一日より、中国五県の生乳流通体制の整備構築を図るため、集乳データを一元的に集約し、乳価交渉における有利販売を目的とした中国生乳販連の「乳量データ収集システム」が稼働しました。

このことに伴い、広酪では、これまで生乳出荷組合員の庭先での集乳量の単位を「L」表示として来ましたが、同連のシステム稼働に併せて、統一単位基準の「kg」に変更しました。単位変更は、三月三十一日(土)の集

乳を終えた車両十八台を順次、三次CSに集め、中国生乳販連職員が立会する中、同連の委託業者による電磁流量計の設定変更後、広酪職員が電磁流量計の精度管理検査を担当し、併せて、インペラーやオートサンプラー等の老朽化の機器点検にあたりました。

精度確認方法は、予め計量器で量ったポリバケツに溜めた「五十kg」、「百kg」、「百五十kg」の水を流量計を介して吸い込み、集乳車搭載の電磁流量計に誤差がないかを確認しました。作業時間は午前十時開始、午後九時三十分を終了しました。

翌日四月一日(日)には、集乳業務に支障がないかのリスクに備えて職員が待機する中、正常に集乳業務を終えることができました。

以後、乳量データは集乳車両搭載の電磁流量計にケーブルを接続し、自動でパソコンにデータを取り込み、インターネット環境を介して、中国生乳販連の「乳量データ収集システム」に反映されています。



日々徒然
かがやき

- ▼暖かくなると、まれに道端でヒッチハイクする人をみかけます。こうした時、皆さんはどう対応されますか。
- ▼車を止めて、載せてあげる。いや、そのまま素通りする。・・・などなど色々ありますよね。
- ▼その人が初対面で、どんな人かもわからず、載せてあげても良いものか。万一、載せてしまつて、犯罪に巻き込まれたらどうしよう!と考える方が多いかもしれません。
- ▼しかし、ヘルプの手を挙げた人を見過ぎて、その後、この人はどうなったのだろうと、しばらく後悔の念にさいなまれることもあります。
- ▼春先の四月七日、まれな春雪が降りました。皆さん既にスタッドレスタイヤも交換し「春モード」。
- ▼県北では吹雪。みるみる内に真っ白に。ある家では・・・。
- ▼深夜、田舎で寝静まつた一時期。車がうなるようなエンジン音。暴走族?そして、玄関のインターフォンが鳴り響く。不安に思い、その家のお子さんが恐怖と不信に思い、親を起こしに・・・。
- ▼ご主人は警戒心をもって、防衛具を準備し、恐る恐る玄関を開けると、ひとりの二十歳後半の若い女性が立っていた。
- ▼消え入りそうな声で、この家付近のカーブで滑って車を路肩に落としたとのこと。深夜でどこ
- ▼の家を訪ねても開けてもらえず、JAFも呼んだが当面来ない。そこで助けを求め当家へ。
- ▼早速、軽トラを出して、角材やブロック等を準備して引き上げに向かったが容易に上がらず。近所の人にも応援を頼み、やつとのことで救出。
- ▼しかし、その女性の話を聴けば、広島市内から島根に松江道を通って帰ろうとしたところ、冬用タイヤ規制で高速道路を降ろされ、慣れない一般道で帰宅途中に事故遭遇。
- ▼当家ご家族は、女性ひとりで慣れない雪道を帰ることは危険でもあり、安否を気遣つて、「泊めてあげたら・・・」とのお子さんの優しい言葉に宿泊を勧められた。
- ▼更に話を聴けば、広島市内にはアイドルイベントに参加するため、その前段では、家を出る前に父親から「危ないから、止めときなさい」との言葉を振り切つて出てきたとのこと。
- ▼女性は、今回のことで、親の言うこと、他人の忠告は聞くべきということを思い知つたと・・・。
- ▼後日、父親からは丁寧な御礼の電話とお手紙が届いた。
- ▼雪の降る真夜中、見ず知らずの女性を助けた、おとぎ話のような話。
- ▼翌日、ご主人は車両を引き上げた角材等を一人で洗って納め、寝不足のまま、目を擦りながら、地域のイノシシ柵点検で山に出かけたとき・・・。

(T・Y)

